

大学生

は

何を着る??



ENJOY FASHION!

大学生になって、制服だけを着る時代は終わった。毎日自分で服を選んで、それを着る。いつも当たり前に行っていることだけど、みんなはどうやっているんだろう?……というかそもそも、おしやれって何? 気になる大学生のファッション事情をここにまとめた。ファッション難民の皆様にとって「明日、何着よう?」のヒントになりますように。

どこで服を買いますか？

1. UNIQLO

2. GU 3. H&M

上下セットでいくら出せますか？

平均 ¥ 8,879

ファッションに関する情報を

どこで得ていますか？

1. Instagram

2. ネット 3. 店舗

どこにこだわっていますか？

1. 上着

2. 髪型 3. アクセサリー

大学生ファッションに関する、

ぼやき

流行って何だよと思うようになってからファッションが簡単になった。
社会・情報系 女性

このお店のこれが買いたい！って時、まずメルカリでタグ付き新品未使用が売ってないか調べる。
そして、わりと売ってたりする——定価より400円オフくらい
医学部 女性

男性がよく首から下げているネックレス？の意義が正直よくわかりません。
理工学部 男性

90年代の洋楽のバンドTをそのバンドの曲も知らないのに着るのはやめてほしいと思った。
総合政策学部 男性

なんで最近の女の子はみんなベストを着ているのか？
理工学部 女性

最近 YouTuber とか有名人の人が着てたり紹介してたりした服をそのまま買って購入するのハマってます！
環境情報学部 女性

キャンパスごとに服装の違いがあるのかも気になります！（個人的には、女子は文キャン、本キャン、とこキャン、りこキャンの順におしゃれさんが多いと思います。どうでしょうか！）
人間科学部 女性

月にどれくらい服にお金を使っているのか？
教育学部 女性

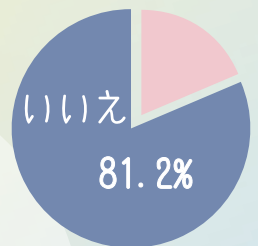
そろそろジャージで学校行きたい。
医学部 女性

なぜ大学生はダボダボのロンTにダボダボのジーンズに Lee か niko and... のズタ袋を下げて、エアマックスを履いているのか？
国際教養学部 女性

通販で服買うのギャンブルすぎると思って買えない……。
国際教養学部 女性

流行を追うべきか定番を長く着るべきか悩む。
医学部 女性

正直なところ、
ファッションに自信がありますか？



@本キャン11号館前



@1号キャン1号館前

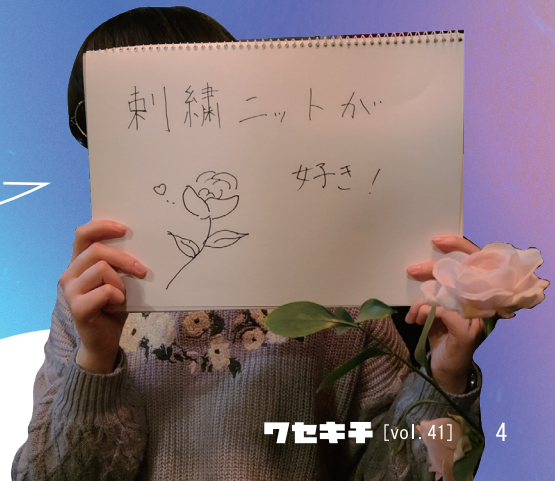


@WASEIDA

「おしゃれな早稲田生のファッションってどんな感じ？」企画会議を進める中で、身近だからこそ盲点な疑問が浮かび上がった。そこで、企画員みずからキャンパスへ繰り出し、おしゃれ早稲田生のファッションを調査した。

じぶんの
ファッションポイント

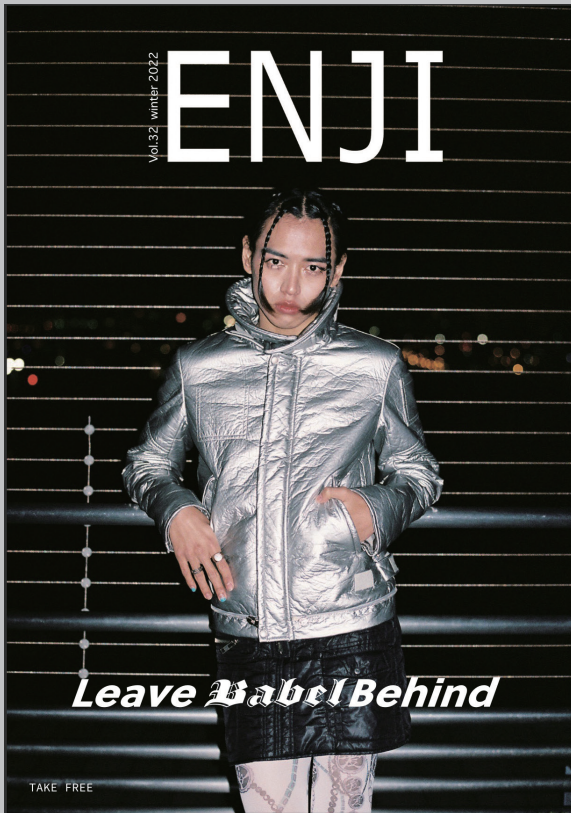
@りこキャン



WASEDA, FASHION, ENJI.

大学生のファッションについて知りたい！と、早稲田で唯一のファッション系出版サークル ENJI さんへのインタビューを行った。

個人のファッションのこだわりからサークルとしてのファッション観まで、深いお話をしていただいた。



ENJI の
いちねん

- 5月 新歓合宿
- 6月
- 7月 企画会議
- 8月 撮影、編集等 夏合宿
- 9月 summer号発行
- 10月 秋合宿、秋冬会議
- 11月 早稲田祭
- 12月
- 1月 秋冬号発行
- 2月 企画会議
- 3月 撮影、編集等
- 4月 spring号発行

※ 2020年度、2021年度はこの通りではなかったが、例年のもとの予定としてはこの通り。

その他イレギュラーイベント

丸実商店とのコラボフリーマーケット

インスタでの発信

早稲田ミュージックレコーズとのコラボイベントの開催

structure

広報局 撮影局
モデルマネジメント局
編集局 渉外局

— ENJIIさんの活動形態について教えてください。

幹事長さん…全部で5つ部署がありまして、広報局、撮影局、モデルマネジメント局、編集局、渉外局になります。モデルは全員早稲田生の方を使っているの、大学内の喫煙所でハンティングしたり……。

— 洋服って、サークルメンバーの持っている服も使うんですね。

副幹事長さん…そうですね。目指しているスタイリングがあったら、それに沿った洋服を持っている人呼びかけて、それでも集まらなかったら古着で買っています。

— 先ほどのお話にあった、ハンティングというのはどのように行っているんですか？

幹事長さん…喫煙所にて「タバココミュニケーション」というので話しつつハンティングするという場合もあれば、インスタなどのDMで企画書を送って打診する、という場合もあります。

副幹事長さん…DMをとにかく送りまくったり、必死に早大生の知り合いをあたって「こういう見た目の人いない？」と聞いて回ったりもしています。

— 企画ごとにテーマが違うと思うのですが、その場合はテーマに沿ったターゲットを決めてハンティングしているんですか？

副幹事長さん…例えば、この間の「ロリータ」を着る企画の時は、ロリータが似合いそうな前髪の重い子やハイトーンの子とか、普段からそんな服を着てそうな子を友人に聞いて回ったりして見つけました。かなり難しかったです。

幹事長さん…メイクはENJIIのスタッフが行う場合もあれば、個人にやっ

ENJII

でもらう場合もあり、美容院でやってもらう場合もあったり。自分で表現したい雰囲気がある場合にはENJIIスタッフで行うことが多いです。

— 他のサークルの事情って分からないんで、新鮮で面白いですね。

— ENJIIさんの「ファッシュンデワセダヲカエル」というコンセプトを一新しようとしているとお聞きしたのですが、その意図はどのようなものですか？

副幹事長さん…もともと二〇〇九年に発足した当時は、「ファッシュンデワセダヲカエル」っていうコンセプトを持っていた団体なんですけど、それは上から過ぎないか？という風に思ったサークル員が多かったですよね。

幹事長さん…ENJIIって実は、縦のつながりが薄くて。その分、代ごとに個性が生まれる良いところもあるんですが、先代が「ファッシュンデワセダヲカエル」という言葉に込めた気持ちあまり伝わってこなかった面もあります。

副幹事長さん…そもそも自分たちが考えた言葉ではないから、捉え直してみようと思っているところです。

— お二人は「ファッシュンデワセダヲカエル」という言葉についてどのように思っていますか？

幹事長さん…ENJIIって自分なりのスタイル、要するに「これ着たい！」という思いを持った人たちが、お互いをリスペクトし合っているんですよ。そういう所が私にとって居心地が良いんです。でも、個性を尊重し合うサークルなのに、他者を変えようとするコンセプトっておかしくないかなと思っ

ていて、私たち流に考え直す時だと思っています。
副幹事長さん…「みんなが自由に自分の着たいもの着ればいいじゃん！」と思いますよね。みんな違うから味が出るものだと思いますし。

幹事長さん…そもそもファッションフリーパーって言ってますけど、今はカルチャーとか自分たちの調べたいこと、興味があることを精一杯やるって感じで、サークルでも話し合っているところです。

—個人としてファッションで大切にしていることは何ですか？

副幹事長さん…昔は人の目を気にし過ぎていた時期もあったんですが、ENJIという場所が私のファッションを確立させてくれました。周りにいる人達が自分の好きな服を着ていて、「すごく素敵だね」と肯定してくれたのが、私はすごくびっくりして。そのことがきっかけで、とにかく可愛いものが好きっていう自分の気持ちをそのまま服で表現しようと思えました。あとは、なるべく少女性を保ちたいという気持ちがあります。肌が見えると女性らしさが際立ってしまうので、布が少ない服が好きではなくて、ずっと自分の中で少女らしさへの憧れがあって服を選んでいきます。

幹事長さん…私はENJIで培った考え方を大切にしています。私立の中高一貫女子校で画一性のようなものを押し付けられ続けて育ったので…。他者と同じでいることが美德とされた世界でしか生きてこなかったのに、ENJIに入っていくなりに何が好きなのかみたいな感じで言われて、「いや、わかんなえ」みたいな。そんなこと考えたこともなかったんですけど、ENJIの人はみんな自分が好きなものを知っているように私には見えませんでした。最初すごいそれがいいなと思って、自分って何が好きなんだろうとか、自分ってこういう考えを持っているんだろうとか。

例えばファッション、服ってその人を表すすごくわかりやすいものだと思うんですけど、それだけじゃなくて、自分を構築するものって何なんだろうみたいな。私はジェンダーとかフェミニズムの勉強をしているんですけど、それが自分の構成されているものに関わっているなと思って。服だけじゃなくて、自分を構成するものって、自分ってなんだろう？のようなことを考える大切さをENJIに教えてもらいました。

ENJI ENJI ENJI

副幹事長さん…人を見て逆に自分を見つめ直すきっかけになりました。あとは自分の考えとか、好きなものを表明するのが怖くなくなったというのが大きいですね。

幹事長さん…服っていろんなものに繋がっていると思います。

44 *Taper*: taper, burning bright, in the forests of the night. What immortal hand or eye,
 Could frame thy fearful symmetry?
 In what distant deeps or heights. Burns the fire of fate eyes? Or, woe, whose dawn he agonies?
 What the hand, dare write the doom?
 And what shoulder, & what art, could twist the atoms of thy heart? And when thy heart began to beat,
 What dread hand? & what dread feet?
 What the hammer? what the chisel, in what presence was thy born? What the secret? what dread grasp,
 Dares its deadly terror grasp?
 When the stars threw down their spears, And heaven's heavens with their hearts:
 Did he smile his work to see?
 Did he who made the Lamb make thee?
Taper: taper, burning bright, in the forests of the night. What immortal hand or eye,
 Dare frame thy fearful symmetry??
 The Taper
 BY WILLIAM BLACK

model: AKI
 x
 iron material: AIRPOINT

42

vol.32 winter 2022

Instagram : @enji_wu
 HP : www.enji-wu.com

買った服への、ふさわしさ

私は直接お店に行って服を買うことが多い。とはいえ、服を買う時に何を考
えているかと聞かれたら、直感と答えざるをえ
ないのかもしれない。もちろん、色の組み合わせだ
とか素材だとかを考える時もある。けれども、着たい
と思ったときにその場で買ってしまふのだ。ただ、買っ
てしまった後に考えることはとても多い。持っている服
の中でこれにふさわしいのは何か、自分自身はこれを着
るのにふさわしいのか。考え始めるとキリがない。私
は買った服に責任を持ちたいのだと思う。買った
服に釣り合う自分でいるために努力する。それ
こそが自分のこだわりなのかもしれない。

のこだわり

こんな服を着よう、この組み合わせにしよう……。人それぞれファッションには譲れない「こだわり」があると思う。こだわりは私たちの服選びに楽しみを与えてくれる。ここでは、私たち企画員一人ひとりのファッションのこだわりを紹介していく。

自分色を出したい

僕のファッションのこだわりは、自分が着たい服を着て他人とは異なる“自分色”を出すことだ。大学生にありがちな黒を基調とした単色でシックな服装は、面白味がないと感じてしまう。制服の着用が校則で定められていた小・中・高とは違い、大学は服装の規定がない。それなのに、みんなが着そうな服装をしていてはもったいないではないか、着ていてテンションの上がる服装をしよう、そんなことを考えていると自然と柄Tシャツだらけになっていた。しかし、そのおかげで「いつも面白いTシャツを着ているね」や「その服どこで買っているの？」などとコミュニケーションの話題作りになるだけでなく、僕=いつも柄Tシャツを着ている人という種々のアイデンティティを獲得できたように思える。誰かが作った型にはまるのではなく自分の感覚を重視し自分が満足できる服装をする。そんなこだわりを持って生きていきたい、そう僕は思う。

私は、いろんなジャンルの服を着たくなるタイプ。自由気ままに楽しみたい！
だけど、そんな私でも一つだけ譲れないポイントがある。それは「服同士の丈
の相性」。この間なんて、駅ビルの鏡に映った自分のジャケットからはみ出るシ
ャツの丈の長さが妙に気になって、途中で家に帰ってしまったくらい。だからい
ろんな丈の長さのアウターを取り揃えないと気が済まない。……こう書いている
と、もはや呪いのように聞こえてきたので、「こういうのがいい！」と思えるフ

アッショを書いていく。
コートから出るスカート裾を見るのが好き。なんなら外出前は部屋の鏡の
前で回ってみたり……。うまくいった日はちょっと嬉しくなって1日を過
ごせる。

その昔、着物は襟のかさねで遊んでいた訳だけれど、時代は裾に
来てるのかも。

裾って大事だよ

これだけはゆずれない

わたし

あしやれは足元から

私は足元にこだわるのが好き。ほら、「お
洒落は足元から」って言うじゃない？ 足元が華
やいでいるとそのままスキップして飛んでいきたいくなる。
高いヒールのあるブーツを履けばイルミネーションの中でコー
ヒーを飲むような気持ちになるし、革靴を履けばレンガ道やオフイ
ス街で小気味よい音を鳴らしながら歩いている気分。あとはなんてったっ
て靴下！ 最近はレトロな靴下が楽しい。花柄だったり、ラインだったり、
レースだったり。それだけでもお洒落な人になった気分を味わうことの出来
る優れもの！ あまり人が気づきにくい、さり気ないお洒落ってところもポ
イント。

でも今はあまり足元にこだわるができないのが残念。なんてったって大
学生は金欠だからね!!